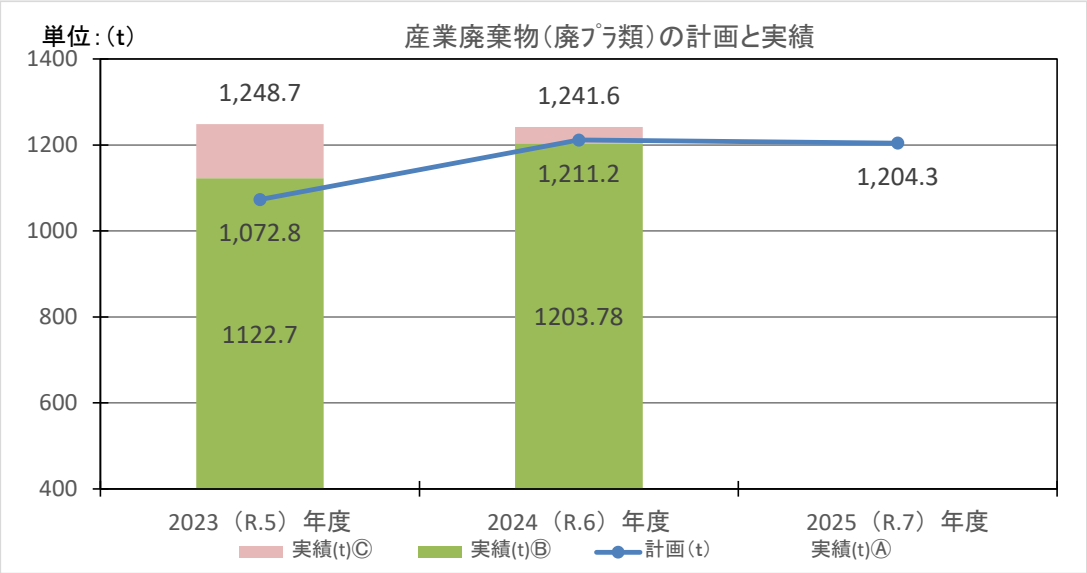


産業廃棄物（廃プラ類）の排出（処理）計画及び実施の状況等〔報告〕（2024年度）

名称（事業場）： 宝和工業株式会社・豊橋工場

所在地（事業場）： 愛知県豊橋市富士見町208番地

1. 産業廃棄物（廃プラ類）の排出量、目標の達成状況に関する情報



①廃プラ類(合計)＝②廃プラ類(端材)(圧縮・固化)＋③廃プラ類(廃材)(焼却)
※排出(処理)計画は、前年度実績の3%減とする。

	計画(t)	実績(t)①	実績(t)②	実績(t)③	うち再資源化(t)	うち再資源化(比率)
2023(R.5)年度	1,072.8	1,248.7	1122.7	126.0	1,248.7	100.0%
		計画(内訳)(再資源化): ②926.5t(100%)、③146.3t(100%)。				
		実績(内訳)(再資源化): ②1122.7t(100%)、③126.0t(100%)。				
2024(R.6)年度	1,211.2	1,241.6	1203.78	37.8	1,241.6	100.0%
		計画(内訳)(再資源化): ②1089.0t(100%)、③122.2t(100%)。				
		実績(内訳)(再資源化): ②1203.8t(100%)、③37.8t(100%)。				
2025(R.7)年度	1,204.3					
		計画(内訳)(再資源化): ②1167.7t(100%)、③36.6t(100%)。				
		実績(内訳)(再資源化): ② t(%)、③ t(%)。				

2. 産業廃棄物の排出の抑制及び再資源化の状況に関する情報

1). 産業廃棄物（プラスチック使用製品産業廃棄物等）の排出の抑制及び再資源化を促進するために講じた取り組み

（実施した活動、取り組み）

- ・生産工程で発生する排出量の削減、分別の徹底。
- ・分別による処理業者での再生利用、再資源化。

- ・梱包（包装）資材の再利用化、排出量の削減。
- ・原材料、梱包（包装）資材の代替、変更。

3. プラスチックに関する取り組み

1) .プラスチック資源循環法を踏まえた取り組み

- ①. プラスチック使用製品設計関連（環境配慮設計の推進）
 - ・揮発性有機化合物、環境負荷物質の低減に配慮した設計。
 - ・設計段階での樹脂の使用量削減、リサイクル可能な材料選定。

- ②. プラスチック使用製品設計関連以外
 - ・不良廃棄の削減。

2) .その他、プラスチックに関連した活動、取り組み

- ・品質管理部門主導による不良品廃棄物削減のPJ推進強化。
- ・環境一般教育にて廃棄物削減の推進を図る。

備考）

- *「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に関する報告（第12条 9項、10項）…… 多量排出事業者：（産業廃棄物の発生量：年間1000トン以上）。
- *「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に関する取り組むべき措置（第44条）… 多量排出事業者：（プラスチック使用製品産業廃棄物等：年間250トン以上）。